

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2022年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、小学生については「1回目のフライングで失格」の新規則は適用せず、旧ルール（一人が2回のフライングで失格）を適用する。なお、スタートの合図はイングリッシュコマンドとする。

2. アスリートビブスは胸と背に必ず規定のものを各自で用意し、糸又は安全ピンで取り付ける。また、トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に各自で用意した腰ナンバーカードを付ける。

3. 競技場への入場等について

【競技者】 ※競技者の入場は6：45からとする。

競技場内への入場はすべて動物園側ゲートを使用する。朝の入場は所属団体ごとにコーチ及び引率者と一緒に入場する。その際、体調管理チェックシートを団体単位でまとめて提出する。これらの書類を忘れた場合は入場できない。その後の入場の際にはアスリートビブスを係員に見せること。競技終了後はテニスコート側ゲート又は動物園側ゲートから退場する。

【引率者】

競技場への入場及び退場はすべて動物園側ゲートを使用する。入場の際には係員に観戦者入場票の提出を義務付ける。（混雑を避けるために用紙を事前にHPからダウンロードし、記入しておくことをお勧めします）

【共 通】

- ・メインスタンドの中央の通路より上段は選手、下段は観戦者を基本とする。
- ・トイレはスタンド両端に設置されている場所を使用する。メインスタンド内のトイレは使用できない。また、正面入り口から場内に入場することはできない。（緊急時を除く）

【記録等】

記録掲示板を用いての記録等の表示は行わない。放送では3位までの記録等を発表する。それ以外はアスリートランキングで確認する。

4. 選手の招集について

招集完了時刻までに競技者係（トラックはスタート地点、フィールドは競技場所）で自分の名前と所属名を知らせ、アスリートビブスを見せる。トラック競技に出場する選手は、右腰やや後ろ側に腰ナンバーカードを付ける。

招集開始時間と完了時間、競技開始時刻はプログラムに書いてあるので、よく見て遅れないようにすること。点呼に遅れると失格となるので注意すること。招集が終わったら審判員の指示に従うこと。種目が重なっている場合、トラック種目が優先されるので、そのことを審判員に申し出て指示に従う。

5. プログラムに記載間違いがあったら本部に早めに申し出ること。

6. レーン、試技順はプログラムの番号順とする。

7. リレーについてはすべて、決められたレーンを走る。（バトンの受け渡しは30mのテイクオーバーゾーン内で行う。）オーダー用紙は競技開始時刻の1時間前までに競技者係まで申し出て、オーダー用紙に走る順を記入する。バトンを渡しても他の選手のじゃまにならないようにするため、係の指示があるまで、自分

のレーンから出ないこと。

8. 小学生のハードルは、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、高さ70cm、台数9台、最終ハードルからゴールまで11mとする。

9. スパイクシューズ、スタートの仕方、リレーのテークオーバーゾーンについては要項に記載のとおり。

10. フィールド競技（走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投、ジャベリックボール投、ジャベリックスロー）

(1) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（天候によって変更することもある）

【小学女子走高跳】

練習1m05 試技1m10から5cm上げとする。

背面跳ではなく、はさみ跳でマットへの着地は必ず足裏からとし、背・腹などからの着地は無効とする。

(2) 走幅跳、砲丸投、ジャベリックボール投、ジャベリックスローの試技は、それぞれ3回ずつとする。

11. 競技に使う用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。

12. その他

(1) 選手は本部前席前を通らないこと。

(2) トラックを横断する時は、事故のないよう、十分気を付けること。

(3) 主催者は応急処置のみ行う。

(4) 主催者側で消毒用アルコールを用意するが、参加者自身も持参することを推奨する。

(5) ゴミ類はすべて持ち帰ること。

(6) 駐車場は動物園駐車場を使用する。競技場内の駐車場は札幌陸協登録の競技役員のみとする。

※出場時には《【大会前用】体調管理チェックシート》の記録が義務付けられる。事前に札幌陸協のHPの「大会前の体調管理チェックについて」の要領に従って実施して下さい。

※感染症対策のため、選手、競技役員、引率者等、来場者全員がマスクを着用する。観客席においては十分な間隔を取って着席すること。大きな声を出しての応援はできない。また、運動時以外はマスクを着用すること。